

クリーンパーク(CLSK)

【セクター】 暗号資産マイニング

【市場】 NASDAQ

【企業概要】

ネバタ州ハンダーソンに本社を置くビットコインのマイニング(採掘)が主業の会社です。以前は「Stratean Inc.(ストラテアン)」という名称で、再生エネルギー事業も手掛けていました(2022年に撤退)。2020年、ATL Data Centers LLC(ALT)の買収を契機に、マイニング事業に参入。低炭素エネルギー源(クリーンエネルギー)を活用し、環境への影響を最小限に抑えることを目指しています。

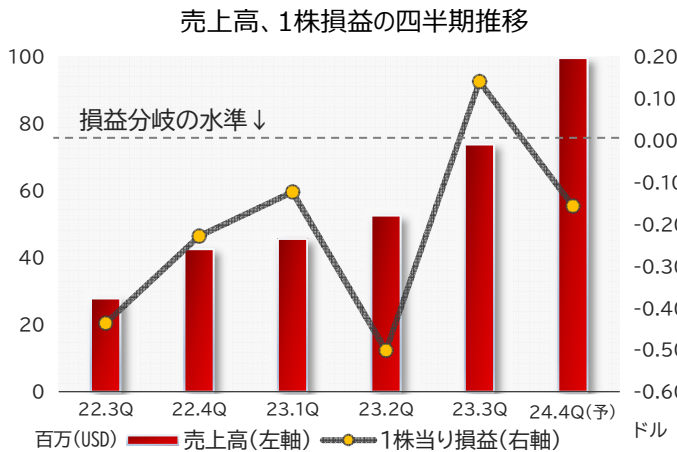
【業績】 (単位: 売上高、純利益は百万ドル、EPS、1株配当、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%)

決算期	売上高	純利益	EPS	1株配当	BPS	ROE	自己資本比率
22.9期	132	-27	-0.64	0.00	7.3	-16.2	89.3
23.9期	168	-122	-1.19	0.00	4.2	-25.3	88.9
24.9期(予)	408	-57	-0.35	-	5.4	-12.9	-

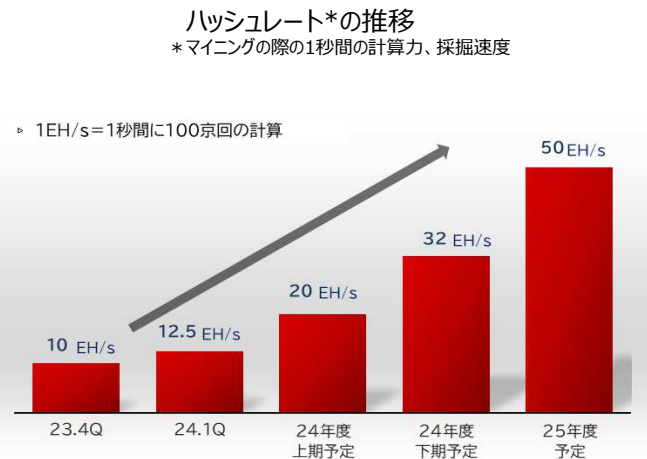
※EPS: 1株当たり利益、BPS: 1株当たり純資産、ROE: 株主資本利益率

(出所) BloombergのデータよりSBI証券作成

【主要指標】



(出所) 会社資料よりSBI証券作成



(出所) 会社資料よりSBI証券作成

【会社の見方】

主な収益は採掘したビットコインで、取得時の時価によって評価されます。2024年の半減期の到来を見越し、マイニング設備の拡大を進めています。本年1月、最大16万台のマイニングマシンを購入する戦略的合意を締結したと発表。4-6月期に6万台が納入予定で、2024年末までに10万台が1TH/s(1秒間に1兆回の計算)あたり16ドルで追加購入できるコールオプションの契約です。2月には、4つの新たなマイニング施設を購入しました。2024年上半期には、ハッシュレート*(*暗号資産を採掘するための計算速度)が2倍となる見込みです。また、保有するビットコインのリターンを最大化を図るため、2024年に社内トレーディングデスクを設置するとの計画が発表されています。

【見通し・注目点】

24.9期1Q(10-12月)は売上高7,380万ドル(前年同期比165%増、前Q比40%増)で予想を上振れ、1株利益は0.14ドル(前年同期-0.44ドル、前Q-0.50ドル)で予想外の黒字転化を達成。ビットコイン価格の上昇と採掘量の増加が寄与しました。同Q末時点で、資産8億6,000万ドルに対し、総負債はわずか1,450万ドル、2億2,900万ドルの流動性(6,250万ドルの現金+約1億ドル6,700万ドル相当のビットコイン)を確保し、半減期に備え柔軟性を維持した形です。

本レポートに関するご注意事項

- ・本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。
- ・本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。本資料の内容は作成時点のものであり、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載の情報、意見等は予告なく変更される可能性があります。

手数料及びリスク情報等

- ・SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、各商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、商品先物取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりっく株365)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。